

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA SOUTHEAST

広島東南ロータリークラブ

会長方針『I serveで歩む楽しいクラブ』

2026年10月5日(第3011回例会)

例会日 月曜日 ANAクラウンプラザホテル広島 Tel.241-1111

事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 Tel.221-4894

会長 岡本幸士 幹事 渡邊直樹

10月は「地域社会の経済発展月間・米山月間」です

10月ロータリーレート157円



持続可能な
インパクトを
生み出そう

本日の例会

12:30 点 鐘
国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」
来客紹介 (親睦委員会)
10月誕生月会員お祝い「バースデーソング」
会食
12:45 会長時間 (岡本会長)
幹事報告 (渡邊幹事)
委員会報告
・出席報告 (出席担当)
・その他
同好会報告
SAA
13:00 プログラム
13:30 点 鐘

会長時間

○入会式 (医)まりも会 ヒロシマ平松病院 院長 平松咲子様
推薦者 温泉川梅代会員 板本敏行会員

幹事報告

○10月ロータリーレートについて
○10/12は休会(スポーツの日)
○10/19は3RC合同夜間例会・懇親会

本日のプログラム

「職場訪問例会」 職業奉仕・経営研究担当

次回例会(10月19日18:30～)

「3RC合同夜間例会・懇親会」 ホスト: 広島東南RC

今週の会長メッセージ Vol.6



クラブ奉仕 あらゆる奉仕活動の基礎となるクラブの充実のため、友情を育み、相互研鑽を
持続します。

お知らせ

例会出席報告

○2026年8月31日例会	○2026年9月14日例会
会員総数 84名	会員総数 86名
出席免除者 6名	出席 65名
(内出席5名)	欠席 21名
出席率対象会員 83名	ゲスト 1名
そのうち 出席 62名	ビジター 0名
欠席 21名	
メイクアップ 21名	
出席率 100%	

今後の予定

○3RC合同夜間例会・懇親会
とき 10月19日(月)18:30～
ところ ANAクラウンプラザホテル広島

○2026-27年度地区大会(ホスト: 宇部RC)
10月23日(金) 記念ゴルフ大会
10月24日(土) 大会1日目 ※会長・幹事のみ
★10月25日(日) 大会2日目 青少年・本会議

★事前クラブ協議会(理事役員・正副リーダー対象)
とき 10月26日(月)13:40～
ところ ANAクラウンプラザホテル広島

○第39回支店長を囲む会＝松茸の陣＝
とき 10月26日(月)18:30～
ところ 料亭 久里川

★広島市立特別支援学校にプレイカードの寄贈
とき 11月5日(木) 13:00～14:00 清掃活動
14:00～14:30 贈呈式
ところ 広島市立特別支援学校

○ガバナー公式訪問
とき 11月9日(月)
11:30～12:00 会長・幹事懇談会
12:30～13:30 例会
★13:40～15:10 フォーラム
ところ ANAクラウンプラザホテル広島

○ORC活動深耕会(入会5年以内会員・親睦委員対象)
とき 11月9日(月)18:30～
ところ HIROSHIMA ITALIAN AO



9月28日例会 S.A.A.の時間の様子

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

「筆の里工房 創作館のオープンについて」

熊野町 総務部産業観光課 課長 近藤光宏様、熊野町美術博物館筆の里工房 地域連携課長 荒谷大祐様

皆さん、こんにちは。熊野町役場産業観光課の近藤と申します。本日は、貴重なお時間をいただき、熊野町が新たに整備した「筆の里工房 創作館」についてお話する機会をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、先週9月23日にオープンしました、筆の里工房「創作館」について、どのように整備したのか、その背景と今後の取り組みなどについてご紹介をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

熊野町は、広島市、呉市、東広島市のほぼ中央に位置しておりますが、今回整備を進めている場所は、町内の北側の山手部分に位置しています。緑豊かな自然に囲まれたエリアにあり、写真の下側で



すが、平成6年に開館した「筆の里工房本館」がございます。そして、道路を挟んだ北側に、今回整備した「筆の里工房 創作館」が位置しております。なお、こちらの「創作館」ですが、都市公園の一部分として整備されたもので、公園部分は現在も整備が進んでおり、「筆の里創造の丘公園」という名称で、令和9年度の上半期に供用を開始する予定となっております。規模といたしまして



は、公園全体の面積が約4.3ヘクタール、現在ある筆の里工房本館の延床面積が3,357平方メートル、そして今回オープンした「創作館」の延床面積が2,353平方メートルとなっております。

こちらのスライドは、それぞれの施設が担う役割についてお示しております。今回の事業では、敷地全体を『見る』『体験する』『遊ぶ』という3つの機能で一体的に構成しております。まず1つ目の『筆の里工房本館』、これまでの「筆の里工房」でございますが、こちらでは、博物館施設として筆の歴史や文化、筆に関連する作品を鑑賞する『見る』拠点として、重要な役割を担います。2つ目の、今回新たに整備した『創作館』は、新たな観光交流施設であり、来館者自らが創作活動に親しむ『体験と交流の拠点』としての役割を担います。そして3つ目の『都市公園』は、大型遊具の設置に加え、この地域ならではの豊かな自然林などを活かした公園づくりを行うことで、子どもからお年寄りまで、世代を超えて誰もが心地よく『遊ぶ』ことができる空間となっております。

ここで、従来からあります「筆の里工房」の歩みについて少しお話いたします。現在、愛知名古屋アジア大会が開催されていますが、今から32年前の平成6年、ちょうど広島アジア大会が開催された年に、「筆の里工房」はオープンしました。館内には、「世界一の太筆」をはじめとして、熊野筆の歴史や文化を深く伝える常設展示や、筆だけでなく、紙・墨・硯といった「文房四宝」の展示なども行っております。また、「伝統工芸士」による実演も行われており、本物の職人の技を間近で見ることのできる熊野ならではの特徴の有したミュージアムとなっております。

筆の里工房では年間5本程度のペースで様々な企画展を開催しております。その内容は「書」の分野にとどまらず、歴史的な国宝展から、スタジオジブリなどのアニメーションに至るまで、幅広いジャンルの企画展を開催しております。この32年間を振り返りますと、筆の里工房は、単なる「熊野町や熊野筆」の情報発信にとどまらず、「筆文化を広く伝える」という役割を担ってきました。

次に「創作館」を整備する際に策定した「熊野町観光交流拠点整備構想計画」についてお話しします。この構想の中には、重要な3つの考え方があります。1つ目は、筆のまち・熊野町の魅力をさらに高める施設であること。2つ目は、筆だけではなく、熊野町の食、自然、人など、さまざまな魅力を体感できる場であること。そして3つ目が、観光客と町民との交流の場とすることです。つまり、観光客だけの施設でも

「筆の里工房 創作館のオープンについて」

熊野町 総務部産業観光課 課長 近藤光宏様、熊野町美術博物館筆の里工房 地域連携課長 荒谷大祐様

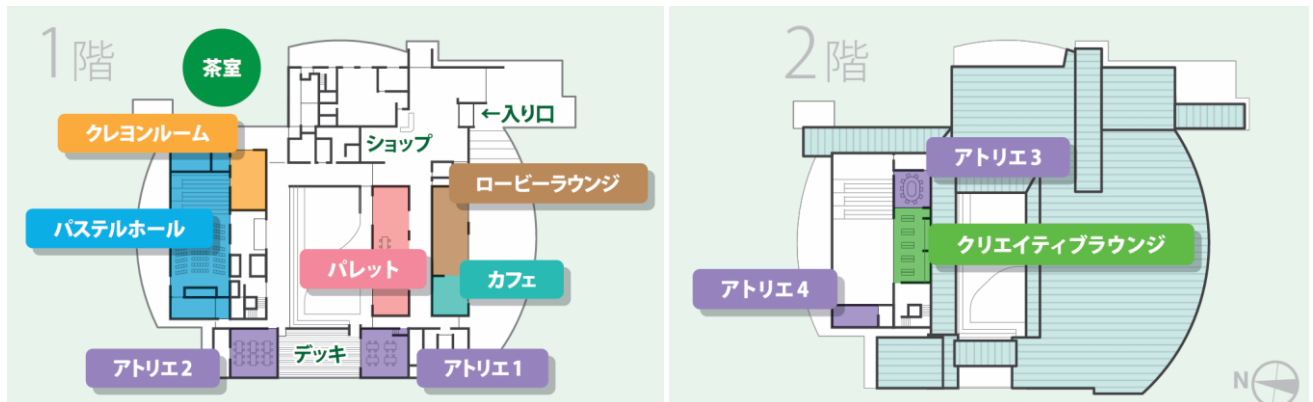
なければ、町民だけの施設でもない、町民も観光客も一緒になって、熊野の魅力を体験し、交流できる場所を目指して創作館は建てられました。

次に、「創作館の目指す姿」として次の6つの柱を掲げております。主なものといたしましては、まず、来館された方が、それぞれの発想力や創造力を発揮できる創作活動が展開されること。あらかじめ決められたものではなく、ご自身で新しい自分を見つけるような自律的な取り組みが「施設」で行われること。多彩なアート活動を通じて、今の「くまのらしさ」をデザインし、発信されることなどでございます。

それでは、創作館の具体的な機能について説明します。こちらは、オープン前の9月19日に撮影した、創作館の写真です。建物自体は完成したのですが、ちょっと見えにくいかもしれませんが、周辺の緑化や外構部分などの整備はこれから仕上げに向かう段階で、写真をご覧くださいと、まだ周りは少し地肌が見えているような状況でございます。

こちらは1階フロアの配置図です。右側の入口付近には、地域の特産品や画材などを取り扱う「ミュージアムショップ」や、自由に休憩や飲食が可能な「ロビーラウンジ」、フランスから熊野にきた地域おこし協力隊が運営する「ルプティクマ」という名前の「カフェ」を配置しております。また、左側には、子どもたちが安心してのびのびと表現を楽しめる「クレヨンルーム」、コンサートや講演会、あるいは子どもたちの遊び場など、多目的に利用できる「パステルホール」、そして中央には無料や安価な料金で筆を使った体験などが手軽にできる「パレット」と呼ばれる「創作体験」コーナーを設けております。また、下側には、教養講座やさまざまなワークショップが開催できる「アトリエ1」、七宝焼きや陶芸、木工などの体験や教室が可能な「アトリエ2」などを整備しております。

なお、図の上側にございます「茶室」につきましては、今年度中に三畳台目の本格的な茶室を移築する計画で、隣接する和室と合わせて、伝統的な和の文化にも触れられる空間を整備する予定でございます。次に、2階フロアの配置図です。2階には、会議やさまざまな創作活動などにご利用いただける「アトリエ3」それから、レーザー加工機や3Dプリンターといった最新のデジタル機器を使って、新しいものづくりを楽しむことができる「アトリエ4」を備えております。また、中央にございます「クリエイティブラウンジ」には、カウンターテーブルやソファを配置しており、創作の合間に読書をしたり、ホッと一息つく休憩スペースとして自由にご利用いただけるようになっています。



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

「筆の里工房 創作館のオープンについて」

熊野町 総務部産業観光課 課長 近藤光宏様、熊野町美術博物館筆の里工房 地域連携課長 荒谷大祐様

次に実際の写真を何枚かご紹介いたします。こちらはパレットと呼ばれる「創作体験コーナー」の写真です。開放的な雰囲気の中、「誰でも、気軽に、手軽に」筆などを使った体験ができるスペースとなっております。次にこちらが施設の中央に位置する中庭です。子どもたちが自由に遊んだり、休憩するスペースですが、今後コンサートやアトリエで作った紙ヒコークを飛ばす大会なども企画しています。こちらは外側に面した「交流テラス」の画像です。こちらのテラスは店内にあるカフェに隣接しておりますのでお茶などの飲んでもらったり、週末にはキッチンカーに出店していただくことで、さらに多くの方に足を運んでいただけるような、賑わいの空間を作りたいと考えております。

次に、こちらは、施設の北側にごございます「パステルホール」の画像です。最大200名を収容可能なホールとなっており、コンサートや講演会などのイベントでの利用を想定しております。イベントが開催されていない日には、子どもたちを対象としたスペースとしての活用を想定しており、具体的には、温かみのある木製玩具をはじめ、段ボールで作られた遊具や絵本などを配置し、こうしたアイテムを使った遊び体験を通じて、子どもたちの元気な笑い声が響く温かい空間にしたいと考えています。

次のスライドですが、「今だからこそ町民の地域拠点が必要」と書かれていますが、この地域拠点というのが「創作館」のことですが、「創作館」を整備する上での、まちの現状について少し触れておきます。熊野町の人口は現在2万3千人余りで、令和2年の広島熊野トンネルの無料化以降、転入超過により、人口も微増又は横ばいでここ数年は推移していますが、少子高齢化や将来的な人口減少は他の地方自治体と同様に避けては通れない状況です。それに伴い、まちの大きな課題として、「自治活動の縮小」があげられます。地域を支えてこられた方々の高齢化が進み、活動への参加意識の低下も相まって、これまでのやり方では地域のコミュニティや活動を維持することが難しくなっているのが現状です。だからこそ、町民一人ひとりが「自分たちの暮らすまち」に改めて視線を向けるきっかけが必要であると考えています。ただ、行政から「地域の活動に参加して下さい」とお願いするだけでは、人はなかなか動いてくれないので、もっと自然に、もっと気軽に足を運べる場所をつくり、「ちょっと面白そうだな」「自分もやってみたい」という好奇心から、再び地域とのつながりが生まれる入口をつくる。その拠点が創作館であると考えております。次に9月23日の創作館オープンの時に開催した記念講演会についてご紹介します。オープニングの記念講演として、脳科学者の中野信子先生をお招きし、「AI時代における脳活のススメ」と題して講演会を行いました。人工知能(AI)

今だからこそ町民の地域拠点が必要

町の現状

- ・現在人口は横ばいだが将来的に人口減
- ・自治活動の縮小
- 運営者の高齢化、参加意識の低下により限界

今だからこそ

町民が「まち」に視線を向けるきっかけが必要

AI時代だからこそ「創作体験」

創作館 オープニング記念講演会



講演名

AI 時代における
脳活のススメ

講師 脳科学者 中野 信子 さん

テレビ・講演・執筆など幅広く活躍。
脳科学の視点から、人間の行動や創造性、
教育などについてわかりやすく発信しています。

AI時代だからこそ
人が創作することが大切

- ・考えること
- ・試すこと
- ・つくること
- ・判断すること

五感を使った体験プログラム



「筆の里工房 創作館のオープンについて」

熊野町 総務部産業観光課 課長 近藤光宏様、熊野町美術博物館筆の里工房 地域連携課長 荒谷大祐様

が私たちの生活のあらゆることを代行し、瞬時に答えを出してくれる現代だからこそ、人間が自らの頭で深く考え、試行錯誤し、自分自身の手でものをづくり、自らの意思で判断を下す。そうしたプロセスを経験することが、人間本来の感性を磨く上で何よりも重要になるというお話しは、創作館でこれから実践してく様々な事業と合致する内容でした。これに関連して創作館で大切にしているのは、様々な「五感を使った体験プログラム」です。例えば、左の画像ですが、「書」の体験をするにしても、まずは硯に水を落とし、墨をするところから始める。墨をする音を聞き、香りを感じ、手触りを感じる。墨の色が少しずつ変わっていくのを目にし、実際に書いてみる。ここまで自分で体験し、違いを発見してもらう。これはあくまで一例ですが、こういったことを創作館では体験していただきたいと考えています。

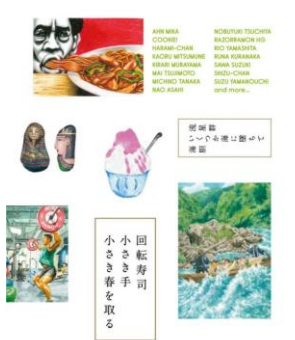
次に創作館の運営についてですが、行政だけで運営するのではなく、熊野町や近隣周辺には、ものづくりをしている方、芸術活動に励む方など、多様な得意分野を持った方々がたくさんいらっしゃいます。そうした町民の中から講師が生まれてくるとも、創作館が目指している姿です。その具体的な仕組みの一つが、KCPという取り組みです。KCPというのは、「クマノクリエイティブパレット」の略ですが、これは、熊野町内や周辺地域で、ものづくりに興味のある方やアーティスト、何かまちづくりに関わってみたいと思われている方々を緩やかにつなぐネットワークで、現在、約600人の方に登録いただいております。この多彩な方々を、新しくできた創作館という場所を起点にして結びつけ、新たな交流や地域の活性化の活動へとつなげていきたいと考えています。

この活動は、「創作館」ができる約1年前から準備を進めてまいりました。そして、正式オープンの直前となります9月20日と21日の2日間、KCPメンバーの皆様が主体となって、オープン前イベントを開催いたしました。会場では、ハンドメイド雑貨の販売をはじめ、大人から子どもまで幅広い世代の方を対象としたものづくりのワークショップ、活気あふれるステージパフォーマンス、そして飲食の出店などが行われました。さらに、将来の地域を担う熊野高校の生徒の皆さんにも、ボランティアや運営スタッフとして大いに活躍していただきました。その結果、初日の20日には約1,600人、翌21日には約1,400人の方にお越しいただき、盛況のうちに終わることができました。

このようなことを経て、9月23日にオープンを迎えた筆の里工房創作館ですが、今後の展開といたしましては、10月3日からは、筆の里工房本館において、テレビ番組などでも全国的に有名な「プレバト展」を開催いたします。この展覧会では、創作館と本館とをしっかりと有機的につなげたいと考えており、本館では、一流のプロや著名人の方々の素晴らしい作品に触れ、作品をじっくりと「見る」。そして創作館へと移動し、今度は自分自身で実際に筆を執り、ものづくりを「体験する」。この「見る」と「体験する」がつながることで、来館者の皆様により重層的な楽しみ方を味わっていただきたいと思っています。

終わりになりますが、町民が気軽に集い、町外から多くの観光客が訪れる。この場所で新しい出会いが生まれ、互いに刺激を受けながら一緒になって何かをつくり出す。そして、そこで生まれた活気やエネルギーが、創作館の中だけに留まらず、熊野町全体へと波及していく。そんな、文化と芸術が力強く息づく魅力的なまちづくりを、これから地域の皆さまと一緒に進めてまいりたいと考えておりますので、皆さまも是非「筆の里工房 創作館」に一度足をお運びいただければ幸いです。

以上で、私からのお話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



プレバト展
才能アリ
2026.10.3 SAT - 11.15 SUN



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA SOUTHEAST

9月28日例会18,000円 累計462,000円 ニコニコ箱・ペコペコ箱

○**冨部秀司**:日本の国技、大相撲秋場所、昨日千秋楽を迎え、横綱大の里と大関安青錦が12勝3敗で並び、千秋楽相星決戦。勝った方が、優勝という大一番になりました。結果、先場所優勝し、連覇を狙うウクライナ出身の安青錦を破り、1年ぶり、6回目の優勝を横綱大の里が飾りました。1年ぶりの横綱優勝で協会関係者も一安心だと思います。(10口)

○**菅富蒼樹**:先日、ゴルフ同好会にて還暦の祝いをさせていただきました。ありがとうございました。還暦にちなんで6口。(6口)

○**山仲巖**:9月18日の中国新聞「ひと交差点」の欄にて、私たちTOHOBEADS(トーホービーズ)の取り組みを取り上げていただきました。感謝。(1口)

○**大本一城**:(ペコペコ1口)

今月の会員記念日(2026年10月)

会員誕生日				パートナー誕生日			
森	原	弘	昌	柄	博	治	柄
辻	雪	路	3日	板	本	敏	陽
都	成	信	10日	宮	内	章	勝
井	原	倫	11日	佐	々	木	子
田	中	康	21日				13日
			27日				18日
							31日

結婚記念日				入会月	
酒	井	正	和	久保河内豊	H17年
神	辺	眞	8日	井原倫子	H27年
牧	野	広	10日	鈴川浩史	R5年
平	町	隆	12日	沖土居恵	R6年
渡	邊	直	21日	大西修	R6年
			28日	旦壮之助	R6年
				中村勝	R7年

創業月

武士末修	(株)寿老園	若宮奈美江	(株)アン
牧野広志	三井住友海上火災保険(株)	安永竜弥	(株)スラッガー
中村伸弘	(有)丸昌商事	辻雪路	(医)辻外科内科クリニック

他クラブ例会変更・休会情報(受付12:00~12:30)

10/13(火)	広島RC(リーグ)	10/19(月)	広島中央RC(リーグ)
10/13(火)	広島西南RC(ANAクラウン)	10/19(月)	広島廿日市RC(サンプラザ)
10/14(水)	広島東RC(グランヴィア)	10/22(木)	広島西RC(ANAクラウン)
10/14(水)	広島陵北RC(リーグ)	10/23(金)	広島城南RC(シェラトン)
10/15(木)	広島北RC(グランヴィア)	10/26(月)	広島中央RC(リーグ)
10/15(木)	広島安佐RC(リーグ)	10/26(月)	広島廿日市RC(サンプラザ)
10/16(金)	広島南RC(リーグ)	10/28(水)	広島東RC(グランヴィア)
10/16(金)	広島城南RC(シェラトン)	10/29(木)	広島北RC(グランヴィア)

クラブ公式SNSのご案内

クラブの活動の様子を随時発信してまいります。
ぜひ、Facebook、Instagramをフォローしてご覧ください。
右のQRコードからご覧いただけます。アクセスして楽しみください。



ロータリーの2つの公式標語 1.「超我の奉仕」 2.「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」